

■ロシア：政府は2018年中に新たなエネルギー戦略の検討を図る可能性

2018年6月9日付現地報道によると、2035年までのロシア・エネルギー戦略が2018年中にも政府による検討に付される可能性がある。エネルギー省のテクセル第一副大臣が報道陣に対して明らかにした。エネルギー省は現在、エネルギー戦略の改訂作業を進めており、テクセル第一副大臣によれば、電気事業の分野では、再エネ支援制度の延長、電力設備の近代化プログラム、電力小売市場における競争の推進などが、新たなエネルギー戦略に盛り込まれる予定である。ロシアでは、エネルギー戦略の改訂作業が数年前から開始されており、エネルギー省は2015年に最初の素案を策定していたが、その後の油価の変動や、欧米等による経済制裁など、ロシアのエネルギー事業をめぐる不透明な要因が浮上したこともあり、政府による正式な採択は大幅に遅れている。